

近畿部会第150回例会

■と き 平成31年3月8日(金) 14:00~17:15 (13:30 開場)

■と ころ 京都府立京都学・歴彩館 小ホール
〒606-0823 京都市左京区下鴨半鴨半木町 1-2 9
Tel 075-723-4836

■テーマ 近代日本の文書管理からアーカイブズを探る

■内 容

戦後、設立された国立公文書館などの国の機関に、近代文書が収蔵・保存され、公開されています。一般には戦前日本にはアーカイブズの理念は定着しなかったといわれていますが、ではどのような経緯で残るようになったのでしょうか。国の公文書管理を通じて解き明し、今日のアーカイブズとのつながりを考えます。

また、府県でも、近代文書が保存されています。これらの府県文書の利用を通じて、何が解明されるのか、具体的な研究事例をご報告いただきます。

■報 告 日本における文書管理とアーカイブズへの認識

一戦前期の統治機構に視点をあてて一

渡邊佳子 氏 (学習院大学非常勤講師)

渡邊報告へのコメント

一戦前府県文書を活用した日本近現代史研究の視点から一

小林啓治 氏 (京都府立大学文学部歴史学科教授)

■参加方法

参加人数を把握するため、電話・メールのいずれかでお申込みください。会員外の方の参加も歓迎。参加無料。

また、例会後、懇親会を予定しています。

[申し込み先]福井県文書館 (担当 柳沢・和田)

Tel 0776 (33) 8890

E-mail archives@library.pref.fukui.jp



京都学・歴彩館 周辺図